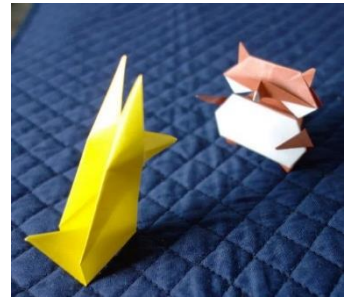


オリガミアンだより

第76号

きつねが装い新たに登場



2022年9月1日発行

常に耳を整えながら同時に鼻・口を引っ張り出すのがコツ

「コーン」「ポンポコ」 きつねとたぬきは、どんなおしゃべりをしているのでしょう

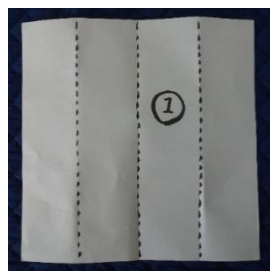
ほぼ1年前の『オリガミアンだより』第34号で「きつね」と「たぬき」の折り方を特集しました。覚えておられますか？ 一見、複雑そうに見える「たぬき」は折り図に沿って忠実につくっていけば、ばっちり出来上がります。一方、単純そうに見える「きつね」は多少折り図を省略してしまい「分かりづらい」との声が寄せられました。私自身も1年前の記憶をたどりながら折り直そうとしましたが、こちらは鼻・口の部分で「ちょっとしたコツ」という要素が加わり、正直言って最初はうまく折れませんでした。反省の意味を込めて「きつね」の折り図のみ再度詳しく紹介することにします。

◆1辺15㌫では大き過ぎ 12㌫四方にカットしてから折る

「きつね」を折る時は1辺12㌫くらいの紙を使うと「たぬき」との釣り合いが取れます。この作品はNHK教育テレビ「折り紙の魔女と博士の四角い時間」2020年12月12日に放映されました。美しいお月さんを眺めながら折ってみましょう。



ボクが見本。
上手に折って



②で折った三角形を中へ折り
込むと③になる



③を裏返し点線部分を折る



尾は大きな中割れ
折り

⑤を内側に折ると⑥に。⑦で両耳を常にしっかりつまんで整えながら同時に鼻・口になる部分を引っ張り出すと、きつねらしくなる。⑧で実線部分を体の中へ折り込んで太めの尻尾に仕上げる

9月例会は6日、20日です

編集：オリガミアン代表 熊谷 信哉



シンプルで可愛い
きつねが登場して
折り紙博士も満足
そう